

こどもまんなか熊本を実現するために

こども・若者、子育て世代等の当事者・関係者の意見反映

- こどもの考えを形にして、こどもがもっと社会に参加していけるように、こどもの意見を政策に反映していきます。
- 子育て世代や保育・教育の現場で働く方など当事者・関係者の意見をこども施策に反映します。

その他のポイント

- 保育・教育の現場で働く方が増えたり、働きやすくなったりするよう、こどもや子育てのサポートをする人をサポートします。
- こどもや子育て中の方が安心して、いろいろなサポートを頼れるように、社会全体の意識を変えていきます。
- 手続きのシンプル化や分かりやすい情報の発信をしていきます。
- 熊本県知事をリーダーに、県庁全体で取り組みます。
- 目標と評価のものさしを決めて、取組みを進めます。
- 子育て中の方が働く会社や市町村等の関係者と力を合わせて、サポートを形にします。
- こども施策を進めるのに必要なお金を確保していきます。

計画をつくるにあたって県民の皆様に御意見を聞きました！

こどもを含めた幅広い年代から意見を伺う「こども未来創造会議」（141名参加）、パブリックコメント（142件）、経済界・労働界と知事との意見交換会より抜粋。

不登校の
こどもをもっと
支援してほしい

通学路の
安全を確保
してほしい

子育てしやすい
職場環境づくりを
推進してほしい

保育士が足りず、
十分な保育が
できない

不妊治療の
支援をしてほしい

こどもまんなかを
進めるためにも
中小企業も
支援してほしい



今後も引き続き、こども・若者や子育て世代、保育・教育の現場で働く方等の当事者・関係者の御意見を伺い、毎年、取組みの見直しを行います。共に「こどもまんなか熊本」を実現していきましょう。

「こどもまんなか熊本・実現計画」の詳細は、県ホームページをご覧ください。 [こどもまんなか熊本](#) [検索!](#)

お問合せ 熊本県子ども未来課 Tel: 096-333-2225

令和6年度発行



「こどもまんなか熊本・実現計画」 概要



©2010 熊本県くまモン

「こどもまんなか熊本・実現計画」ってなに？

熊本県がこども施策※を進めるときに、大切にすることや必要なことを書いています。令和7年度から令和11年度までの間に熊本県が行うこどものための取組みは、「こどもまんなか熊本・実現計画」に沿って進んでいきます。

※こどもに関する行政の取組みのこと。おとなになるまでの心や体の成長をサポートすることや、子育て中の方たちへのサポートをすることなどがあります。

なぜ「こどもまんなか熊本・実現計画」をつくるの？

こどもや若者、子育て中の方が笑顔にあふれ幸せになり、少子化・人口減少の流れを変えることにもつなげていくためには、こども・若者がキラキラ輝き、県民の皆様が家庭や子育てに夢を持てる「こどもまんなか熊本」を実現する必要があります。そのため、「こどもまんなか熊本・実現計画」を策定しました。

熊本県

どんなことを大切にするの？

全てのこども・若者が幸せに暮らし、成長できるようにします。

家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できるようにします。

こどもや若者、子育て中の方を支援する人が笑顔で接することができるようにします。

こどもや若者、子育て中の方のライフステージに応じた切れ目ない支援を実施します。

関係機関と連携し、社会全体の気運醸成を行います。

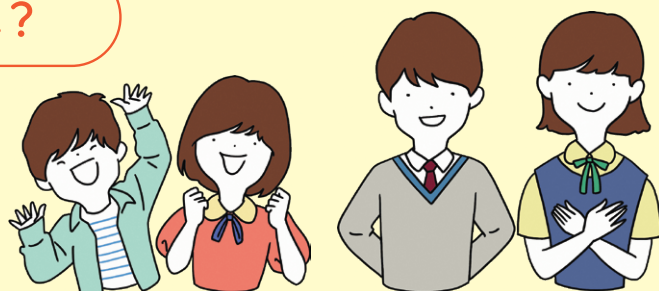
県民の皆様と共に未来を創ります。

こども施策で大切なことは？

こども施策を進めていく上で
大切なことは

「いつでも大切なこと」
「こどもの成長に合わせて大切にすること」
「子育てサポートで大切なこと」

の3つに分かれます。



いつでも大切なこと

- こどもも権利を持っている。このことを社会の皆さんに知ってもらい、こどもの皆さんが学べるようにします。
- 熊本県が自然豊かで農林水産業が盛んなことを活かしながら、いろいろな体験や遊びの機会をたくさん用意します。
- 病気や障がいのある子、外国人のこどもも支援していきます。
- 貧困な状況で生まれ育っても、夢に挑戦できるようにしていきます。
- こどもの体と心が傷つかないように守っていきます。
- 犯罪からこどもを守るように、警察や学校、住んでいる周りの皆さんと一緒に取り組んでいきます。通学路を安全にしていきます。
- 快適に移動できるように道をつくったり、バスや電車を便利にします。
- 将来おとなになったときにどんなことをしたいか考えるサポートをします。



こどもの成長に合わせて大切にすること

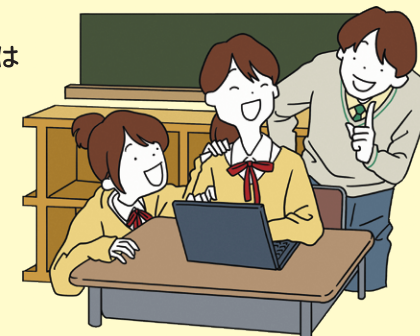
6才くらいまでの時期

- こどもがお母さんのおなかの中にいるときから産まれた後も、親子がともに安心して元気にすごすためのサポートをします。
- 幼稚園や保育園などで、こどもの成長にとって大事な遊びの機会をたくさん用意して、良い学びができるようにしていきます。



6～18才くらいの時期

- 学校での生活がますます充実して楽しいものになり、こどもの皆さんが自分の良いところに気付けるように取組みを進めていきます。
- 道徳や学活（ホームルーム）なども使っていじめ問題について考えるとともに、タブレット等を活用していじめを早く見つけたり、専門家に来てもらって相談しやすくなります。
- 不登校になったこどもが安心して学べるようにしていきます。
- こどもが先生から叩かれたり、不適切な指導をされたりすることはあってはいけません。そうしたことが起こらないようにします。
- ふるさとを誇りに思えるようにします。
- こどもが好きなことをしていい居場所をつくっていきます。皆さんにとって心地の良い居場所になるよう、しっかり意見を聴きます。
- おとなになって社会で生きていけるように、国や社会の仕組みなどの大事な知識を伝えます。



18才くらいからの時期

- 若者が自分に合う仕事を見つけ、経験を積んでいけるようにサポートします。
- 若者や家族が抱える悩みへの相談体制を整えます。
- 熊本に住み続けたいと思えるようなまちづくりをしていきます。
- 結婚をしたいのに出会いがない若者には、出会いの場を用意するとともに、結婚後の新しい生活を安心してスタートできるようにサポートします。
- 不妊治療への支援を充実します。



子育てサポートで大切なこと

- こどもの医療費の助成や多子世帯の子育て支援など子育てや教育にかかるお金のサポートを続けます。
- 地域全体で子育てをサポートします。
- 夫婦で協力して子育てをできるようにしていきます。
- こどもまんなかを進めるためにも中小企業をサポートしていきます。
- ひとり親の家庭をサポートします。

